

AAS（アソシエ・アドバンス・スクール）は、中小企業診断士2次試験に特化した受験機関です。過去問を基軸に置いた学習で、スーパーフレームワークや設問分解練習法など独自の2次試験攻略法を開発してきました。AASでは「表現力×構成力×与件活用力」で答案を作成しています。

【平成30年度・第2次筆記試験】事例Ⅲ（生産・技術戦略）

この模範解答例は
AAS関西が作成しました

第1問（配点20点）

理由は、①金型を内製化し加工技術力を強化することで、コスト低減ノウハウを蓄積できたから、②工業団地内でC社がリーダーとなり、共同受注や共同開発を実施してきたから。（80字）

第2問（配点20点）

問題点は、段取り時間が長時間となっている点である。改善策は、①次の金型と材料の置き場からの移動を、成形機が稼働している待ち時間に行う事前作業すること、②取外した金型の金型置き場への移動を、成形機が稼働している待ち時間に行う事後作業とすること。（120字）

第3問（配点20点）

問題点は、生産効率優先で策定している点である。改善策は、①週2回の計画策定に変更して各製品の安全在庫量も見直すことで、毎日の変動する納品数量に対応する、②生産ロットサイズを生産計画サイクルの納品数量に合わせることで、過大な製品在庫を削減する。（120字）

第4問（配点20点）

内容は、①生産計画と作業者が使用する金型が連動できるように、顧客からの支給される金型も含めC社で統一した識別コードと置き場を設定する、②資材購買と作業者の現品管理が連動できるように、材料倉庫の置き場位置を明確化し仕入先からの納品位置を定める。（120字）

第5問（配点20点）

今後の戦略は、①国内生産に戻る傾向にある電気・電子部品メーカーに、成形加工品のコスト低減ノウハウを提案して販路開拓を行う、②工業団地組合の顧客企業に、C社の高度な成形技術と他社の金属加工品を組み込んだ新製品を工業団地組合で共同受注・開発を行う。（120字）

文責：AAS大阪・神戸代表 石原真一

＜メルマガ「AAS関西かわら版」に登録すると解説音声と資料がご覧いただけます！＞
解説音声とともに、解答例作成にいたった思考手順を資料としてダウンロードすることができます。
AASの思考手順を12月16日（日）の口述試験対策としてご活用いただければ幸いです。
こちらのURLへ ⇒ <https://www.aas-clover.com/kansai/sokuhou-2>